

第63回 東京・第64回 大阪 スガウエザリング学術講演会のお知らせ

〔第63回 東京〕 開催日：平成28年11月2日（水）
会 場：アルカディア市ヶ谷 3階富士の間

〔第64回 大阪〕 開催日：平成28年11月9日（水）
会 場：大阪国際会議場 12階特別会議場
（グランキューブ大阪）

参加登録制

〔 聴講無料
テキスト代(CD付)1部 5,000円(消費税込) 〕

定員 東京 300名・大阪 200名

参加申込方法は、裏面をご覧ください。

後 援： 文部科学省
協 賛： (公社) 高分子学会 (一社) 色材協会 (公社) 自動車技術会
(一財) 日本ウエザリングテストセンター (一社) 日本建築学会
(一社) 日本ゴム協会 (一社) 日本塗料工業会 日本プラスチック工業連盟
(一社) 日本防錆技術協会 (一社) 表面技術協会 (公社) 腐食防食学会
スガ試験機(株)

主 催： 公益財団法人 スガウエザリング技術振興財団

■ プログラム

テーマ 屋外暴露と促進試験

開催 期日 会場 時間割	東京(第63回)	大阪(第64回)
	平成28年11月2日(水) アルカディア市ヶ谷 3階富士の間 〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921	平成28年11月9日(水) 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)12階特別会議場 〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51 TEL06-4803-5555
10:00~10:10	開会のご挨拶 理事長 須賀 茂雄	
[1] 10:10~11:00	グローバル大気腐食データベースの構築 (3.屋内大気腐食) スガウェザリング技術振興財団 腐食研究委員会 石川 雄一	
	休 憩 (5分)	
[2] 11:05~11:50	黎明期の建築物の耐久性調査を通して 【第1部】日本最古の鉄筋コンクリート (RC) 集合住宅が語るもの -軍艦島構造物群の建築学的価値- 東京理科大学 工学部建築学科 教授 今本 啓一	
	休 憩 (1時間5分)	
[3] 12:55~13:30	【第2部】旧国立霞ヶ丘競技場の耐久性調査 -国立競技場は材料学的な寿命を迎えていたのか- 東京理科大学 工学部建築学科 教授 今本 啓一	
	休 憩 (5分)	
[4] 13:35~14:25	宇宙環境における材料劣化と耐宇宙環境性評価 宇宙航空研究開発機構 研究開発部門 第一研究ユニット 研究開発員 森 一之	
	休 憩 (5分)	
[5] 14:30~15:30	世界中の環境下で、放射線量検出の信頼性はどうか確保されているか？ Oak Ridge National Laboratory, Technical Testing and Analysis Center IEC/TC104(Environmental conditions, classification and methods of test) /MT16(Climatic conditions and test) ,MT19(Maintenance of IEC 60721-3 series) Convener Peter Chiaro	
	休 憩 (5分)	
[6] 15:35~16:25	自動車用防錆材料の塩害環境における腐食メカニズム解析と促進試験 トヨタ自動車株式会社 有機材料技術部 防錆技術室 主任 梶山 優子	
	休 憩 (5分)	
[7] 16:30~17:00	腐食促進試験の基礎と屋外暴露との関連研究 (第一報) -促進耐候性試験と腐食促進試験との組合せ試験の有効性- スガウェザリング技術振興財団 耐候光研究委員会 渡辺 真	

(敬称略)

17:10~19:10

懇親会 (スガ試験機(株)主催、有料 2,000円税込み)

■講演概要

いし かわ ゆう いち
石 川 雄 一

本財団の腐食研究委員会では、機械・構造用金属材料の世界各地における大気腐食挙動を定量的に把握し、防食対策の立案に有効なデータベースの構築を推進しており、これまで、屋外におけるグローバル大気腐食データベース（1. 炭素鋼/2. 亜鉛・銅）をまとめてきた。現在は、各種金属材料（炭素鋼、亜鉛、銅、銀、ニッケル、すず）の屋内におけるグローバル大気腐食データベースの構築に取り組んでいる。本講演では、その取り組みについて紹介する。

いま もと けい いち
今 本 啓 一

【第1部】 世界遺産の構成資産となった軍艦島建築物群。無人の島日本最古の鉄筋コンクリート（RC）集合住宅をはじめとするこの島の建築物が投げかける建築材料学的価値について考察する。

【第2部】 旧国立霞ヶ丘競技場が惜しまれながらも解体された。その寿命 50 年。旧国立霞ヶ丘競技場は実は産業副産物を主体とした高炉セメントを先駆的に用いた建物でもある。本建物の耐久性調査を通して、材料の視点から見た旧国立霞ヶ丘競技場の寿命を探る。

もり かず ゆき
森 一 之

人工衛星や宇宙ステーション等の宇宙機に使用する材料は、地上で使用される材料と同様の機械的特性や電気的特性などの一般的特性に加えて、耐紫外線性、耐放射線性などが求められる。宇宙環境における材料の劣化事例と耐宇宙環境性（原子状酸素、電子線、紫外線、真空による脱ガス）の評価方法を中心に、材料の宇宙環境における耐候性を紹介する。

Peter Chiaro

規制対象である核物質の不法な輸送を見つけるシステムが世界中で開発され、設置されるようになった。放射線検出器は、様々な環境要因で劣化していくため、世界中の異なる環境下での耐候性を研究し、信頼性を高めていく取り組みが、IEC 規格の改正作業の中で行われてきた。ここでは、放射線検出器のこれまでの耐候性試験に関する取り組みと、IEC 規格の最新情報について紹介する。

かじ やま ゆう こ
梶 山 優 子

自動車市場のグローバルな拡大に伴い、厳しい腐食環境である塩害環境地域での自動車の使用が増加してきている。自動車の外装に使用されている装飾クロムめっきはブランドイメージ、意匠性に大きく寄与する部位で使用されており、耐食性向上や見栄え品質維持が非常に重要である。ロシア市場等における特異的な装飾クロムめっき腐食についてメカニズム解析を行った。更に塩泥を使用した促進試験について紹介する。

わた なべ しん
渡 辺 真

腐食促進試験における腐食因子である、塩溶液の濃度・pH、温度、試験片角度等の影響を実験する事から試験管理のポイントを紹介する。また、各種塗装鋼板（一般塗料、自動車塗料、鋼板メッキ処理の有無等）について、沖繩暴露試験、促進耐候性試験、促進耐候性試験+複合サイクル試験を実施、結果を比較しながら耐候劣化と腐食との関係を紹介する。

■参加申込方法

参加をご希望の方は、当財団 Web サイト (www.swtf.or.jp) より参加登録フォームにてお申し込みください。

FAXでお申し込みの場合は、下記の参加申込書をご利用ください。

登録完了後ご返信いたします(定員になり次第締切りとさせていただきます)。

聴講無料ですが、テキストをご入用の方は、当日別途テキスト代をお支払いください。

○講演会参加申込書 (FAX 用)

スガウエザリング技術振興財団 行

(東京) FAX 03-3353-4753

(大阪) FAX 06-6386-5156

講演会 (聴講無料)	東京 (11月2日) ・ 大阪 (11月9日)	(いずれかに○印)
フリガナ		
ご氏名		
ご勤務先		
ご所属・お役職		
電子メール	(参加登録完了をご連絡いたしますので、必ずご記入下さい。)	
ご勤務先住所	〒 都道 府県	
T E L		
テキスト (CD 付) (有料)	要 ・ 不要	(いずれかに○印)
	1部 5,000円 (消費税込) ※当日、現金でお支払い下さい。テキストは、当日お渡しいたします。	

○懇親会参加申込書 (FAX 用) (スガ試験機(株)主催)

懇親会 (有料)	参加する ・ 参加しない	(いずれかに○印)
	参加料 2,000円 (消費税込) ※当日、現金でお支払い下さい。	

■会場のご案内

東京会場

アルカディア市ヶ谷 3階富士の間
〒102-0073 千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921

- 地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(1またはA1)出口から徒歩2分
- 地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅(A1またはA4)出口から徒歩2分
- JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩2分

大阪会場

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) 12階特別会議場
〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51 TEL06-4803-5555

- 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)」駅(2番出口すぐ)
- JR環状線「福島」駅から徒歩(約10分)
- JR東西線「新福島」駅(2番・3番出口)から徒歩(約10分)
- 阪神電鉄「福島」駅3番出口から徒歩(約10分)
- 地下鉄「阿波座」駅(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩(約10分)

尚、無料シャトルバスが「リーガロイヤルホテル」(大阪国際会議場東隣)とJR「大阪駅」西側(高架下)の間で運行しておりご利用いただけます。

(公財)スガウエザリング技術振興財団

東京事務局

〒162-0067 東京都新宿区富久町 16-5
新宿高砂ビル 6階
Tel : 03-3354-5248 fax : 03-3353-4753
E-mail : tokyo@swtf.or.jp

大阪事務局

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 3-23
Tel : 06-6386-2691 fax : 06-6386-5156
E-mail : osaka@swtf.or.jp